

科目名				授業の種類		授業担当者	
教育の方法と技術				講義		倉科深陽	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	2	2	30	15	後期	必修	
[授業の目的・ねらい] 幼児教育における教育方法と技術に関する基本的な理論と実践について学ぶ。							
[授業全体の内容と概要] 教育方法、保育方法の知識・理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。また、具体的な多くの事例より探求していく。							
[受講上の注意事項] ・次回までの課題を消化し、授業に臨むこと。 ・提出物は期限内に必ず提出すること。							
[使用テキスト] 必要に応じて資料を配布する。				[評価基準] 授業・課題への取り組み・・・30% レポート提出・・・30% 試験・・・40%			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目		授業内容				
1	開講にあたって		ガイダンス				
2	教育方法と技術の意義		保育現場における教育方法と技術				
3	乳幼児期の発達と指導		乳幼児期の発達を理解し、指導のあり方を学ぶ				
4	指導と援助方法 1		0～2歳の学びと育ち、かかわり方について				
5	指導と援助方法 2		3～5歳児の学びと育ち、かかわり方について				
6	指導と援助方法 3		5歳～就学前の子どもの学びと育ち、かかわり方について				
7	現場における視聴覚教材の活用 1		視聴覚教材の活用について理解を深める				
8	現場における視聴覚教材の活用 2		視聴覚教材の活動について実践方法				
9	現場における視聴覚教材の活用 3		視聴覚教材の活動研究 1 グループ研究				
10	現場における視聴覚教材の活用 4		視聴覚教材の活動研究 2 グループ教材作成				

11	現場における視聴覚教材の活用 5	視聴覚教材の活動研究 3 グループ発表
12	現場における視聴覚教材の活用 6	視聴覚教材の活動研究 4 グループ評価
13	遊びを通しての総合的な指導方法	園生活の遊びの展開
14	行事を活かした保育の展開	行事の指導について理解を深め、展開の仕方を考察する
15	まとめ	まとめ